

# 小中学校におけるいじめ及び不登校の問題について

下村 宏 議員

**質問** 滋賀県大津市のいじめによる自殺は、連日新聞・マスコミ等で取り上げられ、自殺者も後を絶たず、大きな社会問題となっております。保護者の中には、警察に直接被害届を出した報道もされており、学校・教育委員会の対応が注目されています。

会を実施し、積極的にいじめの調査と問題解決に取り組みました。

そこで、美浦村の小中学校のいじめの認知件数、調査方法、問題解決の状況について、教育長の見解をお聞きします。

各学校から報告された認知件数等は教育委員会で確認し、対応等を取りまとめました。安中小学校を除いた学校でいじめが確認されましたが、先生方の努力により大谷小の1件を除き解消されました。今後も先生方と協力しながら、万全な対応をしていきたいと考えます。

**答弁（教育長）** 県内においても、常陸太田市で中学生のいじめによる事案が発生しており、県でもさまざまな対応がされております。美浦村でも、小学校3校の先生と教育委員がいじめ等について直接対話、検討

平成24年1学期中のいじめ認知件数  
(8月30日県教育委員会報告分)

| 学校名   | 件数        |
|-------|-----------|
| 木原小学校 | 10件 (10件) |
| 安中小学校 | 0件        |
| 大谷小学校 | 2件 (1件)   |
| 美浦中学校 | 2件 (2件)   |

注) ( )内は、1学期中に解消した件数

**質問** 最近まで、公立小中学校の長期欠席率が、県内ワースト1位と不名誉な数字が出ている。不登校出現率は、現在どのようになっているのか。

不登校の原因と適応指導教室の利用状況について伺います。

**答弁（教育長）** 長欠率は表に示されたとおりですが、長欠者は不登校だけではありません。30日以上休んだ場合も数字となって出てきますので、原因は確定できません。質問のとおり、残念ながら22年度までの4年間ワースト1位ですが、昨年度は小中学校共に県の標準を下回っており、長欠率が大幅に改善され、本年度では不登校の生徒はほとんど無くなりました。

この2年間、適応指導教室の指導員の増員による対応や、中学校新校舎での学習、先生方の努力等が改善の要因と考えられます。

茨城県及び美浦村の不登校児童生徒数

|                           |     | 不登校者数<br>(長欠者数) (人) | 長欠率 (%)     | 県全体不登校者数 (人)<br>(長欠率) (%) |
|---------------------------|-----|---------------------|-------------|---------------------------|
| 平成22年度版<br>(平成21年度分)      | 小学校 | — (19)              | 1.93 (1位)   | 434 (0.80)                |
|                           | 中学校 | 26 (31)             | 6.39 (1位)   | 2,440 (4.01)              |
| 平成23年度版<br>(平成22年度分)      | 小学校 | 4 (17)              | 1.74 (1位)   | 485 (0.84)                |
|                           | 中学校 | 27 (31)             | 6.78 (1位)   | 2,353 (3.81)              |
| 平成24年度版 (速報)<br>(平成23年度分) | 小学校 | 4 (5)               | 0.54 (順位未定) | 448 (0.85)                |
|                           | 中学校 | 10 (12)             | 2.74 (順位未定) | 2,247 (3.64)              |

注1) 茨城県教育委員会『教育調査報告書』による。

注2) 長欠者には病欠者含む。長欠率は児童生徒100人当たりの長欠者数。( )は県内の高率順位。